



作物いろいろ、
ワイドに守る。



野菜などの害虫防除に
アグロスリン



乳剤

適用作物・害虫と使用方法

2021年4月現在の登録内容

*印は本剤およびシベルメトリンを含む農薬の総使用回数

農林水産省登録 第16590号

作物名	適用害虫名	希 釈 倍 数 (倍)	使用 液量	使用時期 (収穫前)	総使用 回 数*	使用方法				
きゅうり	アブラムシ類 オンシツコナジラミ	2,000	100～ 300ℓ/10a	前日まで	5回以内	散布				
	ミナミキイロアザミウマ トマトハモグリバエ	1,000								
	すいか	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ					1,000～2,000			
メロン	アブラムシ類	2,000								
	ミナミキイロアザミウマ トマトハモグリバエ	1,000								
かぼちゃ	アブラムシ類 アザミウマ類 ハスモンヨトウ									
べっかぼちゃ(種子)	ヨトウムシ	2,000	100～ 500ℓ/10a	7日前まで	4回以内					
アスパラガス					3回以内					
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ		100～ 300ℓ/10a	前日まで	5回以内					
なす	ミナミキイロアザミウマ	1,000								
ピーマン、いちご	アブラムシ類	2,000								
ねぎ	シロイチモジヨトウ	1,000								
	アブラムシ類 ネギコガ ネギハモグリバエ アザミウマ類	2,000								
わけぎ	シロイチモジヨトウ	1,000		3日前まで	2回以内					
たまねぎ	アザミウマ類 シロイチモジヨトウ ネギハモグリバエ	2,000			5回以内		無人航空機 による散布			
	アザミウマ類 シロイチモジヨトウ	48	2.4ℓ/10a							
だいず	ジャガイモヒゲナガアブラムシ マメシシクイガ カメムシ類 フタスジヒメハムシ	2,000	100～ 300ℓ/10a	7日前まで	3回以内		散布			
えだまめ	アブラムシ類 ノメイガ類									
あずき	アブラムシ類 インゲンテントウ									
いんげんまめ さやいんげん にんじん	アブラムシ類 ヨトウムシ									
ごぼう	アブラムシ類									
ほうれんそう	ヨトウムシ アブラムシ類				14日前まで	5回以内				
チンゲンサイ	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1,000			21日前まで					
	アオムシ									
非結球あぶらな科葉菜類 (チンゲンサイ、ケールを除く)	アブラムシ類				前日まで	2回以内			散布	
にら	ネギアザミウマ ヨトウムシ類				7日前まで	3回以内				
にら(花茎)	ネギコガ ハモグリバエ類				前日まで					
レタス 非結球レタス しそ科葉菜類 (しそ、バジルを除く)	アブラムシ類	2,000				5回以内 2回以内				1回
しそ	アブラムシ類 ヒシモンヨコバイ				7日前まで					
しそ(花穂) バジル	アブラムシ類			3日前まで	2回以内	3回以内				
未成熟さば 葉にんにく	ネギアザミウマ			前日まで						
らっきょう エンサイ	ハスモンヨトウ			3日前まで	5回以内 2回以内	2回以内				
飼料用えんばく (は種用種子)	コクヌストモドキ	300	種子1kg当り 希釈液20mℓ	貯蔵前	1回		種子吹き付け処理 又は塗沫処理			
食用ぎく	アブラムシ類 アザミウマ類 オオタバコガ ハスモンヨトウ、ヨトウムシ	1,500	100～ 300ℓ/10a	3日前まで	1回					
食用プリムラ 食用金魚草 食用エキザカム 食用カーネーション 食用せんにちこう 食用トレニア 食用なでしこ 食用パンジー	アブラムシ類				14日前まで		2回以内			
かんきつ	チャノキイロアザミウマ ミカンハモグリガ アブラムシ類 コアオハナムグリ クシキヌイ カメムシ類			1,000～2,000	200～ 700ℓ/10a		7日前まで	3回以内		散布
	キウイフルーツ			キイロマイコガ、キクビスカシバ キウイヒメヨコバイ、カメムシ類	1,000～2,000					
麦類	アブラムシ類			2,000	60～ 150ℓ/10a		21日前まで			
とうもろこし	アワノメイガ アブラムシ類	1,000～2,000	100～ 300ℓ/10a	7日前まで						
	アワヨトウ	1,000								
たばこ	タバコアオムシ ヨトウムシ	2,000～3,000	25～ 180ℓ/10a	発生初期～ 10日前まで	2回以内					
	アブラムシ類 オンシツコナジラミ									
きんぎょ	アブラムシ類	2,000	100～ 300ℓ/10a	発生初期	6回以内					
カーネーション	アブラムシ類、ヨトウムシ類									
しきみ	アブラムシ類									
さかき	アブラムシ類 サカキフチヒメヨコバイ		200～ 700ℓ/10a							

上手な使い方

害虫の発生初期をねらいします。

アグロスリンのもつ優れた残効性、特異な忌避作用を活かして、害虫の発生初期や害虫の密度が高まる前の、従来よりやや早いタイミングで散布してください。

数種の害虫の併殺をねらいします。

アグロスリンのもつ広い殺虫スペクトラムを活かして、同時に発生する複数種の害虫の併殺をねらいします。

ていねいに散布します。

害虫は薬剤のかかりにくい葉裏にも生息します。散布に当っては、かけ残しのないようていねいに行ってください。

他剤とのローテーション散布を行います。

感受性低下害虫の出現を防ぐため、ピレスロイド系薬剤の連続使用はさけ、他系統殺虫剤を組み入れたローテーション散布を心がけてください。

使用上の注意事項[抜粋]

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- ボルドー液と混用する場合は使用直前に混合してください。
- ねぎのシロイチモジヨトウに散布する場合は、食入前の若齢幼虫期に散布してください。
- かんきつでの散布は、場合にによりハダニ類が増えることがあるので注意してください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合には次の注意を守ってください。①散布は各散布機種の散布基準に従って実施してください。②散布機種に適合した散布装置を使用してください。③散布中薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれのある場所では使用しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。①ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。③関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤で処理したえんばくの種子は食用及び飼料用には用いないでください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 原液は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には、直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防護衣などを着用してください。散布液を吸い込んだり、浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 本剤はのど、鼻、皮膚などを刺激する場合、またかゆみを生じる場合があるので注意してください。
- 水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び、海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 養殖池周辺での使用はさけてください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。



●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

1974(21-4)